

留萌きつらめき舞台物語

#3 門間 明さん



元地域おこし協力隊
もんま あきら
門間 明さん

新規就農者として留萌市に定住

「地域の「員」として頑張りたい」

札幌市出身の門間明さんは、平成25年6月に留萌市の「地域おこし協力隊」の隊員として横浜市から移住してきました。農業技術の習得と農業を通じた地域の活性化などを目的に、農業研修をはじめ、市や農業関連団体が主催する食農体験事業の協力などさまざまな活動に取り組んできました。

今年3月で、地域おこし協力隊としての3年の任期を満了した門間さんは、農地確保や経営自立などに向けた助成金を受けられることができる市の「新規就農者支援事業」などを活用し、当初からの目標であった市内での新規就農を果たしました。「農家として、まずはスタートライ

ンに立つことができました。地域の「員」として頑張っていたと考えています」と語っていました。

「26年3月から家族と一緒に留萌で生活するようになりまし。留萌は自然が豊かで、子どもを育てるのに良い環境だと感じます。妻も息子も留萌での生活に慣れ、少しずつ友達も増えてきたようです。私もたくさんの方に会い助けられながら、さまざまなことを教えていただきました。親切な方が多く、人に恵まれたことに本当に感謝しています」と振り返っています。

今後の活動について「農業研修で学んできた経験を生かし、ピーマンのハウス栽培を今春か

ら開始しました。まだまだ不安に感じることはありますが、まずは安定した暮らしができるように努力していきたいと考えています」と語り、目標について「これからもたくさんの方から多くのことを学び、農家として成長していきながら、留萌の農作物として恥ずかしくないものが作れるように頑張ります」と話してくれました。

◇ 地域おこし協力隊の取り組みなどについては、左記へお問い合わせください。

問 市・政策調整課
42-1809



▲農業研修に励む門間明さん